

## 令和6年度事業計画書

### はじめに

新型コロナは、度々感染拡大と縮小を繰り返し、今後も感染拡大の可能性はあるものの収束状態に入り令和5年5月にはその位置づけが5類に変更されコロナ前の日常を取り戻しています。

そうした中、超高齢化社会を迎えながらも全国のシルバー会員数は70万人を下回る状態が続き平成30年度に策定した100万人達成計画にはほど遠い現状です。本センターの会員数も令和2年度末312人、令和3年度末284人、令和4年度末270人と減少傾向が続きましたが令和5年度末は280人と減少に歯止めがかかったとも言えます。

しかしながら、高齢者の働く環境の整備が行われ65歳までの雇用延長と希望すれば70歳まで働き続けることも可能となり入会時の会員の年齢が73歳前後、会員の平均年齢は75歳、75歳以上の割合が50%程度と年々上昇しています。また、現役時代にホワイトカラー職種に就いていた方の入会が増えたことや兼業農家の農業離れなどから、草刈りや剪定などに携わることが可能な会員の減少が進んでいます。こうしたことから、だれもが仕事ができる環境整備や仕事をリタイヤされた会員の活動場所としての機能も備えることがセンターの役割と考えています。また、会員の健康増進・フレイル予防や、高齢者を対象にだれでも気軽に参加できる体験講座やセミナーなどを積極的に展開し、本町の高齢者が健康で暮らしていただける支援も進めます。

個人で働くいわゆるフリーランスの労働環境保護を目的とする特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス法）が本年秋にも施行されます。センターの会員もフリーランスに該当し、会員の安定就業が図られるよう契約方法の見直しなどを進める必要があります。

その他にも安全就業の確保、事業の拡大、適正就業の推進、運営基盤の強化やデジタル化の推進など課題は山積ですが、第4次中期計画に則り事業を押し進めることといたします。

### 基本方針

- 1 いきいきと元気で働く仲間づくり（会員の拡大）
- 2 地域に深く根ざした仕事づくり（地域社会の活性化）
- 3 安全・健康、笑顔で働く職場づくり（生きがい就労の追求）
- 4 取り組みを支える基盤づくり（運営基盤の強化）

## 事業実施計画

### 1 いきいきと元気で働く仲間づくり

会員の拡大を進めていくうえでは、センターが魅力的な組織であり、会員が生き生き活躍し高齢期の豊かな生活を実現していることや仕事だけでなく、仲間づくりや健康増進など様々なメリットがあることを広く周知していく必要があります。

#### (1) 会員の増強

- ・定例的に入会説明会を開催します。
- ・魅力ある体験講座やセミナーを開催し、健康増進や交流に繋げ就業に限らず在籍する意義を会員に感じてもらうとともに、新規会員の掘り起こしを行います。
- ・会員の満足度を向上し、会員の勧誘による入会者を増やします。
- ・退会抑制のためのプラム会員制度や会員拡大の夫婦会員制度を更に周知します。

#### (2) 女性会員の拡大

- ・女性会員の占める割合は32%で、人口比から拡大の余地がまだまだあり、女性の感性にアピールする広報や就業意欲を喚起する仕事の確保に努めます。
- ・女性部会による女性を対象とした体験講座やセミナーを積極的に展開します。

#### (3) 普及啓発活動

- ・読みやすく親しみを持ってもらえる刊行物を発行します。
- ・機動的にホームページを更新します。
- ・東員町の広報媒体である「広報とういん」や「プラムチャンネル」に掲載・放映されるように町の健康づくり施策と連携した活動の情報提供を行います。
- ・シニアのつどい、文化作品展、商工祭などの関係団体主催イベントの場を活用します。
- ・公共施設の清掃や保育園での保育支援などの社会貢献を行います。
- ・もちつき大会など地域に出向いてセンターの認知度を高めます。
- ・コーラスの集いの活動を展開します。

#### (4) 独自事業の拡大

- ・体力が低下した高齢会員でも無理なく就業できる独自事業を調査研究し、就業の場の拡大に繋がります。
- ・リースづくりや水引細工が成熟化しているので更に推進します。

## 2 地域に深く根ざした仕事づくり

会員と町民の交流の場や地域貢献などによりセンターの理念や社会における役割を町民に理解いただき地域に深く根ざした仕事を展開します。

また、人手不足分野を補ったり、社会が要請する福祉・家事援助サービス事業を引き続き推進します。

### (1) 地域貢献

- ・公共施設の除草清掃や保育園での保育支援など地域に密着した活動によりセンターの社会的意義を高めます。

### (2) 地域に根ざした仕事の提供

- ・地域社会のニーズに適合するよう会員とのマッチングを行います。
- ・福祉・家事援助サービス事業を拡大します。
- ・仕事の仕上がりや接客態度を向上し顧客満足度やリピート率を高めます。
- ・講習会等を開催し、会員の資質を向上します。

## 3 安全・健康、笑顔で働く職場づくり

会員が能力と体力に見合った安全で適正な仕事を通じて、健康で生きがいのある生活を営めるよう施策を推進します。

### (1) 安全就業の徹底

- ・安全・適正就業委員によるパトロールを実施します。
- ・本センターで発生した事故はもとより、全国での重篤事故事例を会報「しるばーだより」に掲載し安全就業の意識を高めます。
- ・危険度が高い仕事は受注しません。
- ・作業機材取扱講習会など安全就業に関する講習を実施します。

### (2) 健康管理の促進

- ・会報などに健康管理の情報を掲載します。
- ・健康診査の受診を奨励します。
- ・体操教室、健康教室や文化教室など魅力ある体験講座やセミナーを開催しフレイル予防にも繋がります。

### (3) 適正就業

- ・厚生労働省からの「適正就業ガイドライン」をもとに請負・派遣の就業形態について厳正な業務を推進します。

### (4) フリーランス法への対応

- ・会員（個人事業主）の更なる安定就業を図るため契約方法の見直しなどを進めます。

#### 4 取り組みを支える基盤づくり

センターは、超高齢化社会にあって欠かすことのできない組織です。厳しい財政状況・事業運営を余儀なくされている中でも、更なるセンターの必要性の意義を提唱し信頼と財源確保を図り、健全な財政運営に努めます。

##### (1) 組織運営の強化と整備

- ・社会貢献活動や交流事業により会員同士の連帯感を高めます。
- ・会員との円滑な関係を維持向上し組織力の強化に努めます。
- ・会報「しるばーだより」などを通じて組織全体で情報を共有します。

##### (2) 財政基盤の強化

- ・東員町及び三重県シルバー人材センター連合会との連携により関連補助金を有効活用します。
- ・効率的効果的予算を編成し堅実な執行に努めます。
- ・事業実施及び法人運営に要する適正な事務費の調査研究を継続します。
- ・インボイス制度に伴う新たな納税や物価高騰にも対応できる足腰の強い基盤構築に努めます。

##### (3) 事務局体制の強化

- ・職員の資質向上を図るため研修会などを積極的に受講します。
- ・デジタル化の推進を含め日常事務の簡素化・効率化を図ります。
- ・職員の組織運営感覚を醸成します。